

(株)大垣共立銀行

大垣市・金融機関

従業員数／男性1,648名 女性1,476名 計3,124名 ※令和4年11月現在

エクセレント
POINT

- ①仕事と家庭の両立支援制度の充実
- ②社員との「モア コミュニケーションタイム」の実施
- ③女性の職域拡大に向けた取組みの実施



子育てや職場復帰などの情報交換をする社員たち。

幅広い支援で女性の活躍推進

金融業、保険業

OKB 大垣共立銀行は、女性の活躍を推進するため、各種制度を整備し、仕事と家庭の両立を支援している。特に、子が3歳になる年度末まで取得可能な育児休業制度は、2022年3月末現在で260名が利用。07年に設立した「なでしこ事務局」では、育児のために長期間職場を離れる社員の不安を解消し、円滑な職場復帰をサポートするため、「育児休業者のつどい」

を定期的に開催。職場復帰経験者から助言を受けるなど、育児中の社員が横の繋がりを育む場となっている。その他にも子育て世代の柔軟な働き方をサポートするための制度を整備し、個々のライフスタイルに応じた働き方を実現している。

また、風通しのよい職場づくりを後押しするため、所属長が社員一人ひとりのライフプラン、悩みなどを把握しながらコミュニケーションを図る「モア コミュニケーションタイム」を実施。

このような取組みの結果、資産運用の相談を受ける女性マネーロンサルタントや、各種ローン・保険等の相談を受ける女性ローンサポート等が配置され、女性が活躍する場が増えている。また、同社には、大型ショッピングセンター内外などに女性のみで運営する店舗

（インストアブランチ）が数ヶ所ある。インストアブランチは、主婦層・家族連れの利用が多く、女性ならではの柔らかい雰囲気で相談しやすい店舗環境となっている。

さらに、女性だけで結成されたプロジェクトチーム「L'sプロジェクト」では、女性のための商品・サービスの開発に注力し、ピンクリボンキャンペーンや情報発信メディア「おひさまマルシェ」の企画・運営なども行っている。



女性の活躍、キャリアアップに取り組む女性社員。